

No.	申請団体	事業名	実施日・場所	事業内容	総経費	決定
1	熊本「万作・萬斎の会」	第21回夏季「狂言の会」	2018年9月16日(日) 熊本市市民会館	「万作・萬斎の会」は芸術性の高い、より良いものを観る、日本の古典芸能を守り、若い世代に継承する、地方で、日本の歴史ある芸術文化を育て、地方からの文化発信地として文化の歴史を作ることを目的にしており、熊本での独自の企画として、年に一度だけのプロデュースを野村万作、野村萬斎自身が個性豊かに行う。熊本では今までに、熊本地震の際の無料の復興支援狂言の回も含め、20回開催している。	11,650,000	200,000
2	上田圭子(志城 慶香)	志城 慶香ピアノリサイタル ～北欧・フィンランドの風～	2019年2月27日(水)熊本市健康文化ホール	志城 慶香は、熊本を拠点に置き、著名な映画作品やアーティストを支える作編曲家であると同時に、国内外で演奏活動をしているピアニスト。2019年は日本・フィンランド国交100周年であり、日本とフィンランドとの文化を通じた架け橋となることを目的とする。二部構成で、一部はオリジナル曲をソロ演奏、二部は童謡ジャズという独自のジャンルで活躍中の杉本ゆみをゲストに、2台のピアノで競演を予定している。	973,749	100,000
3	日本舞踊「伝承の会」実行委員会	熊本県芸術文化祭60周年記念 熊本復興への道 日本舞踊「伝承の会」	2018年11月25日(日)熊本県立劇場	熊本県内の日本舞踊家の連携をより一層強めることにより、最大の課題である「後継者・若手の育成」の問題を解決しようと初の試みを行う。①熊本県芸術文化祭60周年を記念するための芸術性の高い公演②熊本復興への力強い歩みを全国に発信③日本舞踊の後継者育成を目的としている。当日は熊本県内の中・高生を招待して、生の舞台の迫力や感動を経験してもらい、関心をもつ機会を作り、また子どもたちによる日本舞踊の実演舞台も計画している。	30,740,000	200,000
4	荒尾市民楽団864!	荒尾市民楽団864! 第7回定期演奏会	2018年12月16日(日)荒尾総合文化センター	荒尾市及び近郊に居住または職場があり、アンサンブルを楽しみたいメンバーが集まって、平成23年12月に結成。音楽を通じて荒尾の文化向上の一端を担うよう努力しており、この定期演奏会を通して、荒尾市の未来を担う青少年たちと音楽の楽しさを共有し、荒尾市及び近郊の方たちにもっと音楽を身近に感じ楽しんでもらう機会にしたいと考えている。	270,000	50,000
5	夏目漱石記念年100人委員会	夏目漱石記念年の記念誌発刊	2018年11月末日	熊本県内の大学、企業、自治体などで結成した夏目漱石記念年100人委員会は、没後100年の2016年、生誕150年の2017年に記念事業を数多く実施した。こうした事業を後世に伝えるために、記念誌を制作。研究者の寄稿などを含め8章構成の200ページにまとめている。	4,300,000	200,000
6	坂本善三美術館	んまつーポスと作る善三展「拍手し展！」	展覧会:2018年9月21日～11月25日 記録集作成:展覧会終了後～3月24日 坂本善三美術館	ダンスカンパニー「んまつーポス」をゲストに迎え、ダンスで坂本善三の作品を再解釈したパフォーマンスの映像作品を善三作品とともに展示。特徴として、①ゲストアーティストと町民が一体となり、展覧会のための作品が作り上げられること②自分が絵を見て考えたことを体で表現するという、これまでになかった美術との接し方が提示されることである。これは小国町民にとって美術がより身近に感じられるようになるだけでなく、一般の来館者にとっても刺激的な機会になると思う。	1,300,000	200,000
7	熊本教育評論の会	熊本評論の会創立50周年記念事業 学習支援無料塾 開設・運営及び「月刊教育評論」データベース化	事業1:2018年10月～2021年9月 (熊本市立楠中学校) 事業2:2018年4月～2020年3月 (熊本市退職校長会)	熊本教育評論の会は昭和42年、全国的に荒廃していた教育界を憂い、その歪みを何とかしたいとの熱き想いを持った20数名の熊本県内の退職校長により結成された会である。平成29年5月に会は創立50周年を迎え、会員約500名、会誌は585号を発行するに至り、9月には「教育評論・創刊50周年記念誌」を刊行するとともに記念式典を開催。今後の展開としては、3ヶ年にわたり、中学生対象の無料塾の開設・運営、2ヶ年にわたり「月刊教育評論」のデータベース化を行っていきたい。	950,000	100,000
8	オハイエ くまもと	オハイエくまもと「10周年記念とおきの音楽祭」	2019年3月24日(日) 花畑ひろば等市街地9ヶ所	「オハイエくまもと」は、基本的活動として知的障がいのある人に月2回、楽器演奏、歌、ダンスの練習、指導を行っている。その成果の発表の場として、毎年3月に「とおきの音楽祭」を開催。この音楽祭は障がいの有無、老若男女、プロ・アマ、ジャンルを問わない。前回の音楽祭には100の団体、個人(約650名)が参加。10周年を迎えるにあたり、「障がいのある人もない人も一緒に音楽を楽しむ場を提供し、音楽の力でバリアフリーを目指す」という、「オハイエくまもと」の活動の原点に帰って努力していききたい。	6,495,000	200,000
9	宮城と熊本をクラリネットで繋ぐコンサート 実行委員会	宮城と熊本をクラリネットで繋ぐコンサート	①2018年11月24日(土)～25日(日) 熊本市内中学校 ②2019年3月30日(土)～4月1日(日) 仙台市パトナホール	東日本大震災・熊本地震で大きな被害を受けた、宮城、熊本の演奏家、音楽愛好家、学生の交流を深め、共にコンサートを創り、公演することで、心の復興支援と新しい文化芸術の創造を図る。活動の内容は、熊本市内では、東北出身の演奏家を招き、クラリネットセミナーを行い、熊本のクラリネット文化のレベルの向上を図る。宮城では、クラリネット交流演奏会、子ども向け絵本コンサート、復興コンサート等開催。	1,410,000	100,000
10	それいゆ	第6回それいゆチャリティコンサート	2019年2月16日(土) 同仁堂ホール	メンバーは、普段は関西で活動しているが、熊本地震の直後から、熊本でチャリティ公演や小学校での公演を行っており、今回は第6回目。元気な熊本の姿をまず熊本県民が互いに感じ、肯定できるような場を設けたいとの思いから企画している。通常3人(トリオ・それいゆ)での活動だが、今回は、熊本出身のピアニスト・今村佳奈、バスバトロン・内山健人の2人で開催。	125,500	50,000
				(計)	58,214,249	1,400,000